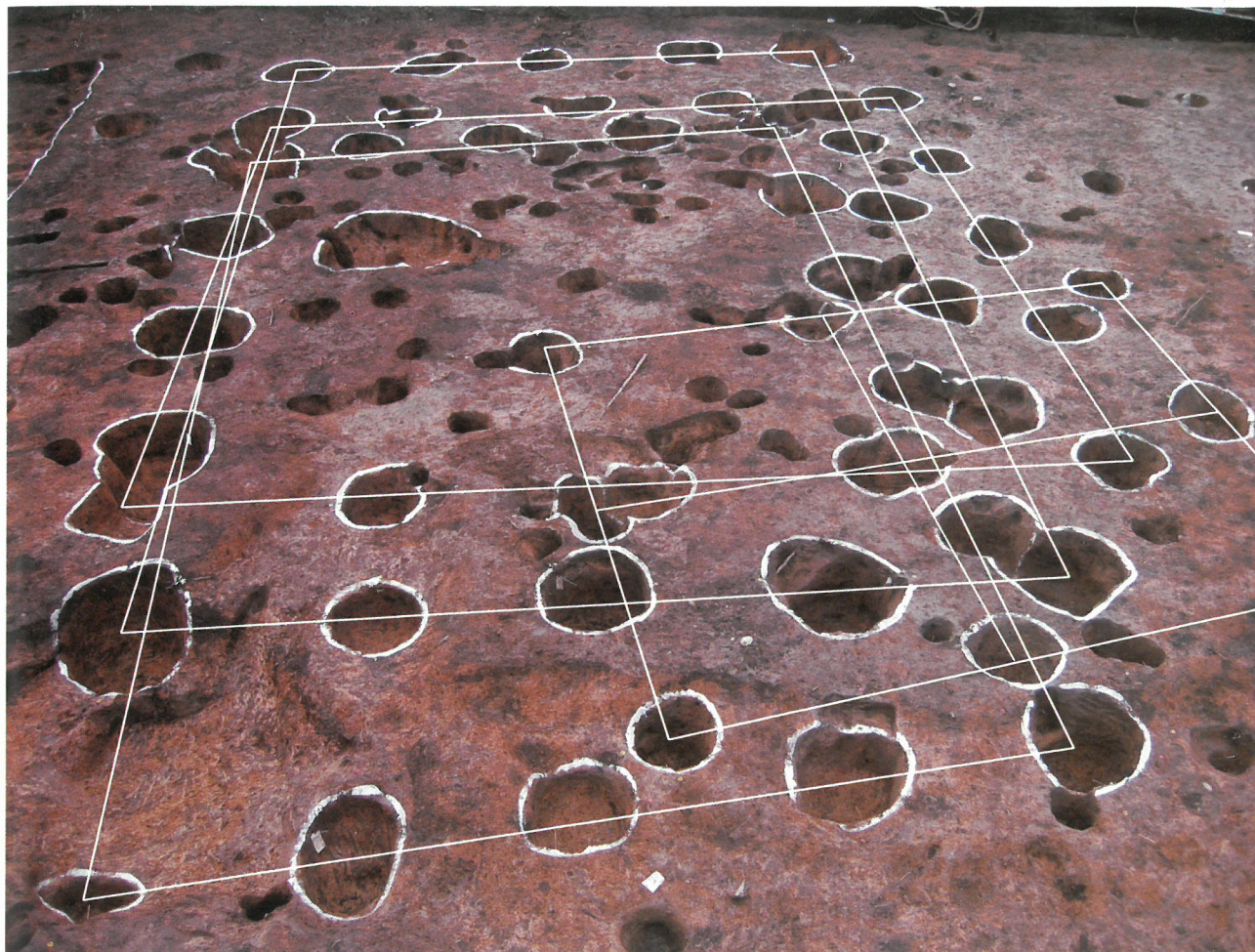




重複して見つかった掘立柱建物跡（矢田野遺跡）

や た の い せき 矢田野遺跡の調査

矢田野遺跡は、小松市矢田野町・矢田町・扇原町・月津町に広がる古墳時代～古代にかけて営まれた集落跡となっています。平成11～16年度には、県営ほ場整備に伴う発掘調査が（財）石川県埋蔵文化財センターによって行われました。この発掘調査では、広範囲にわたって分布する掘立柱建物跡や竪穴建物跡、隣接する矢田借屋古墳群の周辺に存在する新たな古墳などが確認され、6世紀中頃には古墳が築造され、その後、7世紀になると集落が営まれるようになることが分かりました。

今回は、工場建設に伴って矢田野町地内に所在する594㎡の発掘調査を実施しました。調査の結果、7世紀代のものと考えられる掘立柱建物跡7棟、竪穴建物跡4軒が確認されました。掘立柱建物跡3棟には建て替えが行われたことも分かりました。また、珍しい遺構としては、竪穴建物跡の1軒に大きなカマドのような穴が見つかりました。類似した事例が無く、不明な部分も多いのですが、土師器を焼くための施設（土師器焼成土坑）と推定されます。



土師器焼成土坑

おのいせき 小野遺跡の調査

小野遺跡は、小松市の北東部、小野町地内に所在します。標高約15mの国府台地（古府台地）の中央、平安時代の加賀国府所在地と推定されている領域の一角に位置しています。

舟見ヶ丘保幼稚園建設に係る周辺道路改良工事に伴って395㎡の発掘調査を実施しました。平成16年度に引き続き2度目の調査になります。

今回の調査においても昨年度と同様に「近代の掘り込み」が確認されました。この掘り込みは、近隣で盛んだった製瓦業の粘土採掘跡だということです。重機を使わない手掘りの採掘だったため穴は広く浅いもので、今回の調査区の約半分がこれら粘土採掘跡でした。

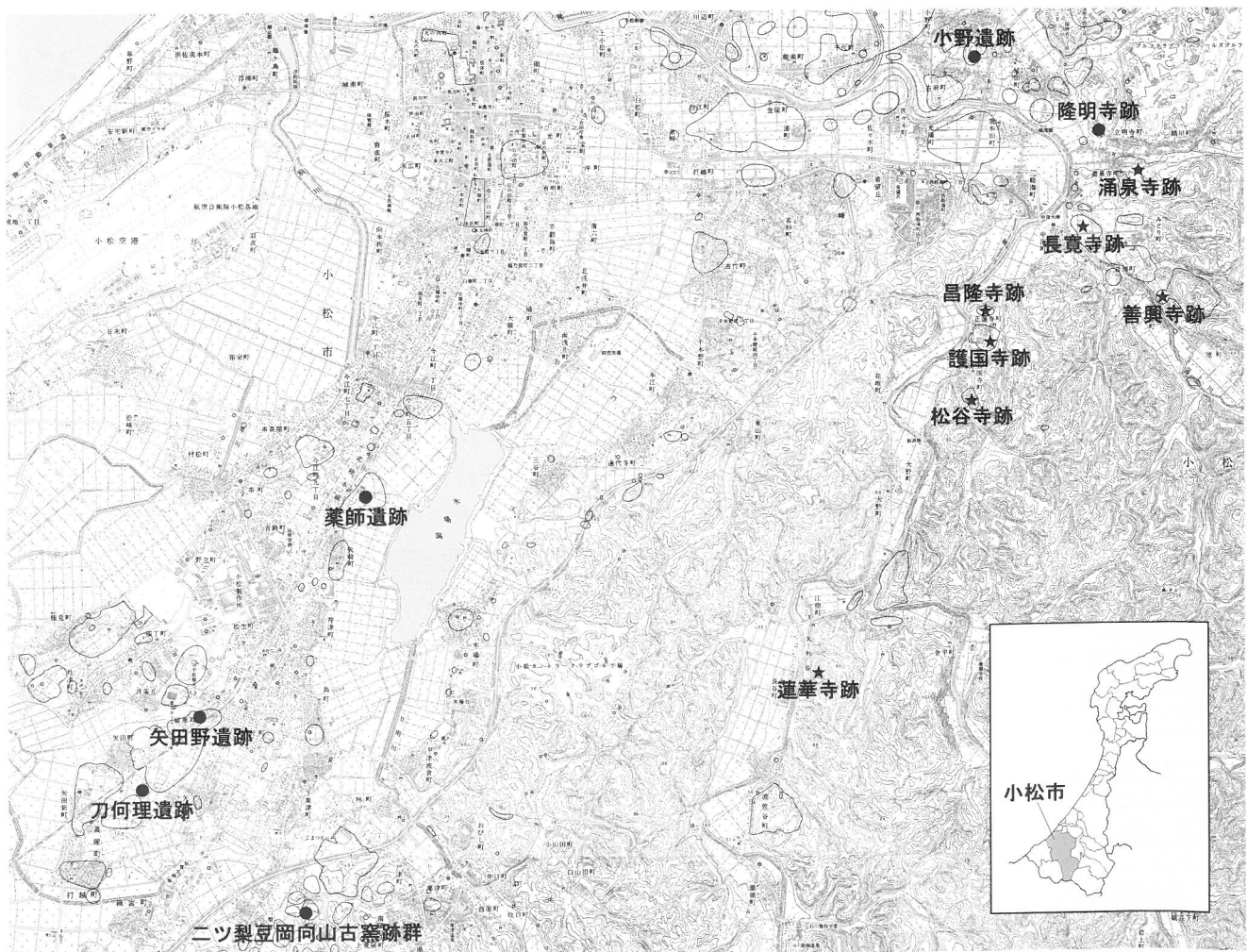
調査では、掘立柱建物跡5棟程度、平安時代の須恵器・土師器などが確認されました。出土した遺物はすべて農地整備時の造成土からのもので、

掘立柱建物跡との因果関係は不明です。

当初期待された加賀国府に直接結びつくような遺構・遺物などは発見されませんでした。掘立柱建物跡が確認されたことや、出土した遺物が9～10世紀代のものであることから、加賀立国時期以降の集落跡であることが分かりました。



掘立柱建物跡（小野遺跡）



平成17年度小松市内発掘調査・確認調査位置● 中宮八院推定地★(S = 1/75,000)

と か り い せ き 刀何理遺跡の調査

刀何理遺跡は、月津台地の西方に位置する古代・中世に営まれた集落遺跡です。近隣では矢田野エジリ古墳を含む三湖台古墳群や矢田野遺跡など数多くの遺跡が確認されています。石川県が実施する「いしかわ広域交流幹線軸道路南加賀道路整備工事」に伴って発掘調査が行われました。

平成16・17年度の2カ年で3,900㎡を調査しました。調査区の多くが削平され、遺跡の残存状態はあまり良くありませんでしたが、奈良時代の竪穴建物1軒、中世の竪穴建物1軒、中世の掘立柱建物5棟、溝6条などが見つかり、複数の時代にわたり集落が営まれていたことが分かりました。



刀何理遺跡全景

やく し い せ き 薬師遺跡の調査

薬師遺跡は、月津台地の北東端、木場潟に面した台地上に営まれた飛鳥時代から平安時代にかけての集落遺跡となっています。平成11・14年度には市道改良工事に伴い発掘調査が行われました。

今回は個人住宅建設に伴って144㎡の発掘調査を実施しました。周辺一帯は埋蔵文化財の削平が深刻な地域に含まれていますが、今回の調査地はほとんど削平を受けておらず、残存状況は良かったと言えます。発掘調査では、L字型カマドを設えた竪穴建物跡が確認されました。これは朝鮮半島からの渡来系移民の住居と考えられているもので、県内では小松市でしか発見されていません。



L字型カマド（薬師遺跡）

ふ た つ な し ま め お か む か い や ま こ よ う せ き ぐ ん ニツ梨豆岡向山古窯跡群の調査

ニツ梨豆岡向山古窯跡群は、小松市ニツ梨町地内、小松市西部の低丘陵末端部に位置します。昭和58年度、平成13～15年度にも発掘調査が行われ、合計12基の須恵器窯跡が確認されています。

平成17年度は、農地開発に伴い4号窯の調査を実施しました。調査の結果、窯跡は近代の削平を受けたり、天井部分がすべて崩落していましたが、製品を焼く床や窯壁は残っていました。この窯跡は、地下式の窖窯で、全長約620cm、幅が150cmの紡錘形をしています。床が窯尻へ向かうに従って急傾斜となる構造で、床の造り替えが3度、窯壁や窯の入り口も幾度も修復された跡が見つかり、当時の須恵器窯焚きの技術者が何度も丁寧にこの窯を直して使ったことが窺えます。



4号窯の調査（ニツ梨豆岡向山古窯跡群）

隆明寺跡の調査

白山信仰勢力とされる「中宮八院」は白山中宮の末寺8ヶ寺からなる寺院の総称です。国衙勢力に対抗できる地方勢力として発展した中宮八院は、文献によると1176年には存在していたことがわかっていますが、現存するものはなく、所在地も特定されておらず、その実態は謎のままです。

平成16年度に引き続き、重要遺跡詳細分布調査として、この中宮八院の1つである隆明寺跡の確



地輪（左）と水輪（右）



中世墓群

認調査を行いました。昨年度、礎石？と思われる遺物がかるうじて検出していたことから隆明寺跡に関連する僅かな手掛かりとして周辺を調査したところ、五輪塔の水輪・地輪・台石が発見され、礎石ではなく地輪であったことが判明し、中世墓群の存在が新たに発見されました。隆明寺跡と直接関わる遺構や遺物の出土はありませんでしたが、中世墓の存在から周辺に寺院跡が存在する可能性はますます高まったと言えるでしょう。

フォーラム「白山信仰の世界」

平成16年度より重要遺跡詳細分布調査として中宮八院の調査を開始したこともあり、平成17年6月26日（日）に第11回まいぶん講座としてフォーラム「白山信仰の世界」を開催しました。

講師には隆明寺跡の調査を担当した川畑謙二（小松市教育委員会 埋蔵文化財調査室 調査員）の他、垣内光次郎氏（財石川県埋蔵文化財センター 整理課長）、木越祐馨氏（石川県立図書館 調査専門員）を迎え、考古学・文献史学それぞれの立場からの報告、及び「白山信仰と中宮八院の実像」と題した座談会を行い、古代末から中世における白山信仰とそれを背景に勢力を誇った中宮八院の実態、中宮八院の推定地の問題などに迫りました。

出前考古学教室

身近な遺跡やその出土品を実際に見たり触れたり、古代技術体験など楽しみながら考古学を学ぶことによって地域の歴史を身近に感じてもらうと、当埋蔵文化財調査室では「出前考古学教室」を開催しています。平成17年度には、勾玉作り7件・土器作り2件・火起こし1件・講演会7件・現場見学1件・埋蔵文化財調査室見学1件の合計19件、延べ約800人の参加がありました。

出前メニューには、勾玉作り・土器作りなどの古代技術体験、出土品ミニ展覧会、考古学講座、体験発掘、遺跡見学、出土品見学などがあります。町内会や学校などの催しに是非ご利用下さい。

＊お問い合わせは埋蔵文化財調査室（0761-24-8132）まで

平成17年度 埋蔵文化財調査事業一覧

発掘調査

遺跡名	調査地	調査期間	原因	時代	遺跡の種類	調査面積
小野遺跡	河田町	5/23～6/17	道路改良工事（市）	平安	集落	395m ²
刀何理遺跡	矢田町	5/23～6/29	道路改良工事（県）	奈良・中世	集落	1,900m ²
薬師遺跡	矢崎町	7/11～8/26	住宅建設（民）	古墳・奈良・平安	集落	144m ²
二ツ梨豆岡向山古窯跡群	二ツ梨町	7/21～10/17	果樹園平地化事業（市）	平安	窯跡	277m ²
矢田野遺跡	矢田野町	9/28～1/16	工場建設（民）	奈良	集落	594m ²

確認調査

遺跡名	調査地	調査期間	原因	時代	遺跡の種類	調査面積
隆明寺跡	立明寺町	2/14～3/25	学術調査	古墳・古代・中世	古墳・窯跡・寺院跡・中世墓群	9,900m ²

試掘調査

開発事業名称	調査地	面積	調査日	備考
ほ場整備（市）	小山田町	123,000m ²	4/11	埋蔵文化財は確認されず
共同住宅建設（民）	矢崎町	2,011m ²	4/22	埋蔵文化財を確認 保存（矢崎宮の下遺跡）
共同住宅建設（民）	矢田野町	573m ²	5/10	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	月津町	200m ²	5/20	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	小野町	1,105m ²	5/25	埋蔵文化財は確認されず
道路改良工事（市）	蓮代寺町	1,140m ²	6/10	埋蔵文化財は確認されず
道路改良工事（市）	上荒屋町	270m ²	6/27・7/1	埋蔵文化財は確認されず
分譲宅地造成（民）	八幡町	2,153m ²	6/28	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	蛭川町	280m ²	7/5	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	上荒屋町	662m ²	7/22	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	扇原町	79m ²	7/27	埋蔵文化財を確認 保存（矢田野遺跡）
住宅建設（民）	埴田町	548m ²	8/3	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	月津町	247m ²	8/18	埋蔵文化財を確認 保存（月津A遺跡）
介護老人福祉施設建設（民）	蛭川町	13,110m ²	8/26	埋蔵文化財は確認されず
工場建設（民）	矢田野町	1,162m ²	9/2・7	埋蔵文化財を確認 発掘調査を実施（矢田野遺跡）
道路改良工事（市）	中海町	600m ²	9/8	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	今江町	300m ²	9/13	埋蔵文化財は確認されず
分譲宅地造成（民）	小寺町・新町	6,617m ²	9/21	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	白江町	190m ²	10/12	埋蔵文化財は確認されず
駐車場造成（民）	扇原町	1,086m ²	10/20	埋蔵文化財を確認 保存（矢田野遺跡）
共同住宅建設（民）	大領町	691m ²	11/7	埋蔵文化財は確認されず
工場建設（民）	高堂町	1,812m ²	11/10	埋蔵文化財は確認されず
国有地の売払い（国）	幸町	140m ²	11/22	埋蔵文化財は確認されず
国有地の売払い（国）	島町	548m ²	11/22	埋蔵文化財を確認 保存（島遺跡）
工場建設（民）	高堂町	647m ²	11/28	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	犬丸町	326m ²	12/6	埋蔵文化財は確認されず
道路改良工事（市）	国府台	4,000m ²	1/13・31	埋蔵文化財は確認されず
店舗建設（民）	土居原町	1,926m ²	1/19	埋蔵文化財は確認されず
店舗建設（民）	矢崎町	599m ²	3/2	埋蔵文化財を確認 発掘調査実施予定（薬師遺跡）
住宅建設（民）	荒木田町	1,088m ²	3/3・23	埋蔵文化財は確認されず
駐車場造成（民）	高堂町	1,227m ²	3/15	埋蔵文化財を確認 保存（高堂遺跡）
宅地分譲（民）	本折町	2,304m ²	3/16	埋蔵文化財は確認されず
住宅建設（民）	月津町	284m ²	3/22	埋蔵文化財は確認されず

（市）は市営事業、（県）県営事業、（国）は国営事業、（民）は民間事業を示す。

よう か いち じ かた い せき

八日市地方遺跡 一弥生時代中期の環濠集落一



環濠の調査

八日市地方遺跡は、J R小松駅の東側、小松市日の出町地内に所在しています。昭和5年の遺跡の発見から弥生時代中期の遺跡として知られていました。平成5～12年度にかけては、小松駅東土地区画整理事業に伴い大規模な発掘調査が行われました。調査の結果、八日市地方遺跡は多重の環濠を伴う環濠集落であり、集落の中央に流れる旧河川、環濠の中には密集した柱穴や土坑群、居住域をとりまく方形周溝墓群など、弥生時代中期の集落のあり方を端的示す、北陸では例をみない大規模で重要な遺跡であることが分かりました。

出土遺物は、土器が遺物箱で約4,000箱、石器が遺物箱で約290箱、木製品が約35,000点にものほり、工具・農耕具・武器・食事具・祭祀具など種類も非常に豊富にみつかりました。また、この中には山陰地方や東海地方、信州地方など遠隔地との交流を示す遺物もみられます。

八日市地方遺跡の調査では膨大な量の遺物が出土しており、これらの多種多様な遺物がもつ情報は弥生時代の様相を解明する上で全国的にも注目を受けるほど重要なものです。こうした学術上極めて重要性の高い資料であることが認められ、平成15年11月3日に八日市地方遺跡から出土した遺物が一括して小松市指定文化財に指定されました。



人形土製品

小松市が全国に誇れる八日市地方遺跡をより多くの方々に知っていただこうと、平成18年度には八日市地方遺跡に関連した催しを数多く予定しています。

市民の皆様の多数のご参加をお待ちしております。



陽刻意匠板

◆『(仮) 八日市地方遺跡特別展』

会期：平成 18年12月16日～平成19年3月11日

会場：小松市立博物館

◆八日市地方遺跡特別講演会1 (第17回まいぶん講座)

期日：平成18年12月17日(日)

講師：石川日出志氏(明治大学教授)

◆八日市地方遺跡特別講演会2 (第18回まいぶん講座)

期日：平成19年1月21日(日)

講師：金関 恕氏(大阪府立弥生文化博物館館長)

◆八日市地方遺跡特別フォーラム(第19回まいぶん講座)

期日：平成19年2月18日(日)

講師：埋蔵文化財調査室 下濱貴子 他

小松市教育委員会 埋蔵文化財調査室

〒923-0801 石川県小松市園町ホ62番地 TEL:0761-24-8132/FAX:0761-20-1194

http://www.city.komatsu.ishikawa.jp/kakuka/maibun/ka_top.asp e-mail address:maibun@city.komatsu.ishikawa.jp